ONKYO

ネットワークチューナー

T-4070
取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

はじめに 2

接続をする.................................11
電源のオン・オフ.........................15

基本操作をする............................16

NET/USB 機能を使用する...29

応用設定をする............................32

困ったときは..............................39
主な仕様 41
修理について..............................42

目次

主な特長 3

付属品 7

前面パネルと後面パネル 8

前面パネル 8
後面パネル 9
表示部 9
リモコン 10

接続をする 11

ラジオのアンテナを接続する 11
接続の前に 12
接続に必要なケーブルの名称と接続端子の形状 12
バランス型 AES/EBU 出力端子について 13
アンプと接続する 13
オンキヨー製品と連動させる接続 14
電源コードを接続する 15
電源を入れる 15

ラジオを聴く 16

AM/FM 放送を聴く 16

USB、ネットワーク内の音楽ファイルを再生する 19

iPod/iPhone を USB ポートに接続する 19
AirPlay を使用する 20
USB ストレージを USB ポートに接続する 22
radiko.jp を聴く 23
vTuner インターネットラジオを聴く 24
他のインターネットラジオ局を登録する 25
My Favorites に登録した放送局を聴く 26
ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生する 26
ネットワークサーバー内の音楽をリモート再生する 28

NET/USB 機能を使用する 29

ネットワーク機器の接続 29
ホームネットワーク（LAN）について 29
サーバーについて 30
USB ストレージについて 30
対応音声フォーマット 30
DLNA について 31

設定をする 32

表示部の明るさを変える 32
設定メニューの操作手順 32
設定メニュー 33

ファームウェアの更新について 35

ネットワーク経由でのファームウェア更新手順 35
USB 経由でのファームウェア更新手順 37

困ったときは 39

電源 39
音声 39
リモコン 39
NET/USB 機能 39
その他 40

主な仕様 41

修理について 42

主な特長

- インターネットラジオ受信可能
- Ethernet、USB 経由で MP3、WAV、WMA、MPEG4 AAC フォーマットの音楽ファイルを再生可能[*1]
- iPod®/iPhone®[*2] や USB ストレージを接続できるフロント USB 端子装備
- AirPlay[*2] 対応
- 圧縮された音楽ファイルを、より良い音で楽しむ Music Optimizer ™[*3] 機能搭載
- デジタル音声出力端子として光 1 系統・同軸 1 系統・AES/EBU 1 系統装備
- 左右独立 DAC（Wolfson WM8742）搭載
- DIDRC[*4]（Dynamic Intermodulation Distortion Reduction Circuitry）搭載
- AM/FM 合わせて 40 局のプリセット可能
- ディスプレイディマー機能（標準 / 少し暗く / 暗く）装備
- オートスタンバイ機能装備

*1 DLNA、DLNA CERTIFIED は、Digital LivingNetwork Alliance の商標または登録商標です。

*1 Microsoft、Windows、Windows Mobile、Windows Media、ActiveSync、DirectX および Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

*2 Made for iPod iPhone

AirPlay、AirPlay ロゴ、iPad、iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
この製品と iPod、iPhone を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

*3 Music Optimizer ™は、オンキヨー株式会社の商標です。

*4 DIDRC はオンキヨー株式会社の登録商標です。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

・煙が出ている、変なにおいや音がする
・本機を落としてしまった
・本機内部に水や金属が入ってしまった
このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

禁止

・押し入れや本棚など通気性の悪い狭い場所に設置して使用しない
（本機の天面、横から2cm以上、背面から5cm以上のスペースをあける）
・逆さまや横倒しにして使用しない
・布やテーブルクロスをかけない
・じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■**水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない**

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
・風呂場など湿度の高い場所では使用しない
・調理台や加湿器のそばには置かない
・雨や雪などがかかるところで使用しない
・本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

■**ETHERNETポートには電話回線を接続しない**

禁止

本機のETHERNETポートに以下のネットワークや回線を接続すると、必要以上の電流が流れ、故障や火災の原因となります。
・一般電話回線
・デジタル式構内交換機（PBX）回線
・ホームテレホンやビジネスホンの回線
・上記以外の電話回線など

電源コード・電源プラグに関するご注意

■**電源コードを傷つけない**

禁止

・電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷きにならないようにする
・傷つけたり、加工したりしない
・無理にねじったり、引っ張ったりしない
・熱器具などに近づけない、加熱しない
電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて乾いた布でほこりを取り除いてください。

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災･感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔から異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■長時間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱･分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液漏れにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス+とマイナス−の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると火災感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグ本体を持って抜いてください。

⚠ 注意

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■音量を上げすぎない

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■ 機器内部の点検について

お客様の使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因とあることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

付属品

ご使用の前に、次の付属品がそろっていることをお確かめください。
(　)内の数字は数量を表しています。

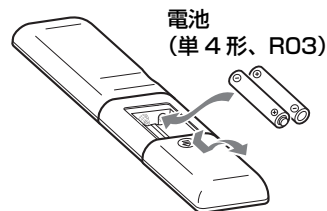
- リモコン（RC-831T）…（1）
- 乾電池（単４形、R03）…（2）
- FM 室内アンテナ …（1）
- AM ループアンテナ …（1）
- オーディオケーブル …（1）
- RI ケーブル …（1）
- 電源コード …（1）
- 取扱説明書（本書）…（1）
- 保証書 …（1）
- オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 …（1）
- ユーザー登録カード …（1）

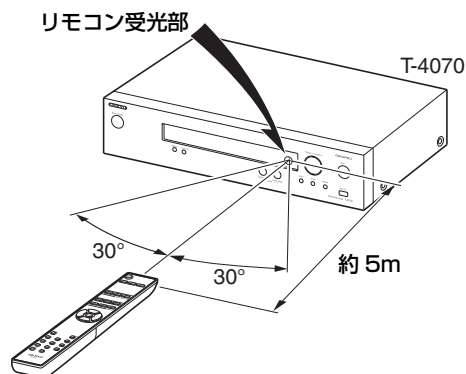
カタログおよび包装箱などに表示されている、各型の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

乾電池を入れる

ご注意

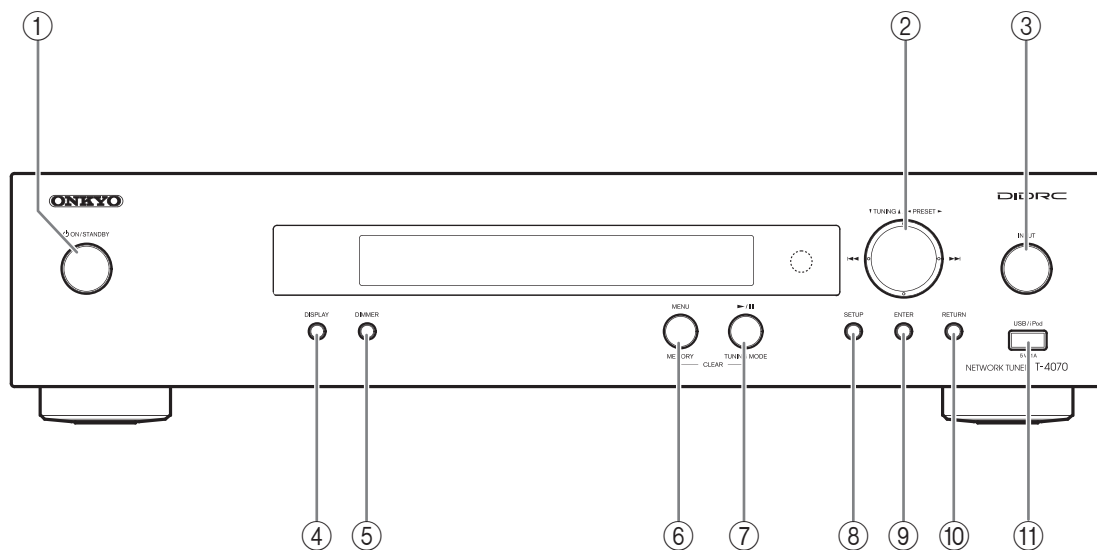
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために、電池を取り出しておいてください。

- 消耗した電池を入れたままにしておきますと、腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して、２本とも新しい電池と交換してください。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

前面パネルと後面パネル

前面パネル

詳細については、( )内のページをご覧ください。

① ON/STANDBY ボタン(15, 36, 37, 39)

② TUNING ▲/▼、PRESET ◄/►、⏮/⏭ ボタン(16, 20, 23, 27, 33, 36)

③ INPUT ボタン(16, 19, 23)

④ DISPLAY ボタン(20, 23, 27)

⑤ DIMMER ボタン(32)

⑥ MEMORY/MENU ボタン(17, 22, 24)

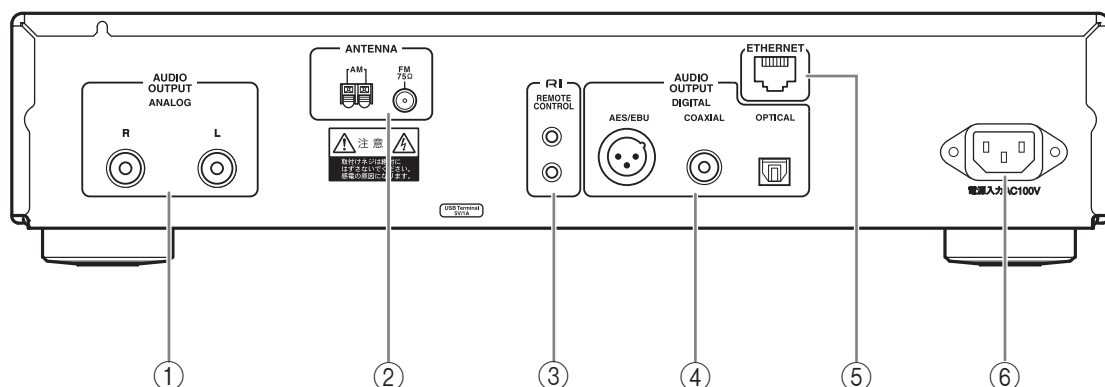
⑦ TUNING MODE /►II ボタン(16, 18, 39)

⑧ SETUP ボタン(18, 21, 25, 33, 36)

⑨ ENTER ボタン(18, 21, 23, 36)

⑩ RETURN ボタン(20, 24, 27)

⑪ USB ポート(19, 22)

後面パネル

詳細については、( )内のページをご覧ください。

① AUDIO OUTPUT（オーディオ アウトプット） 端子(12, 13)

② FM ANTENNA（アンテナ） 、AM ANTENNA（アンテナ） 端子(11)

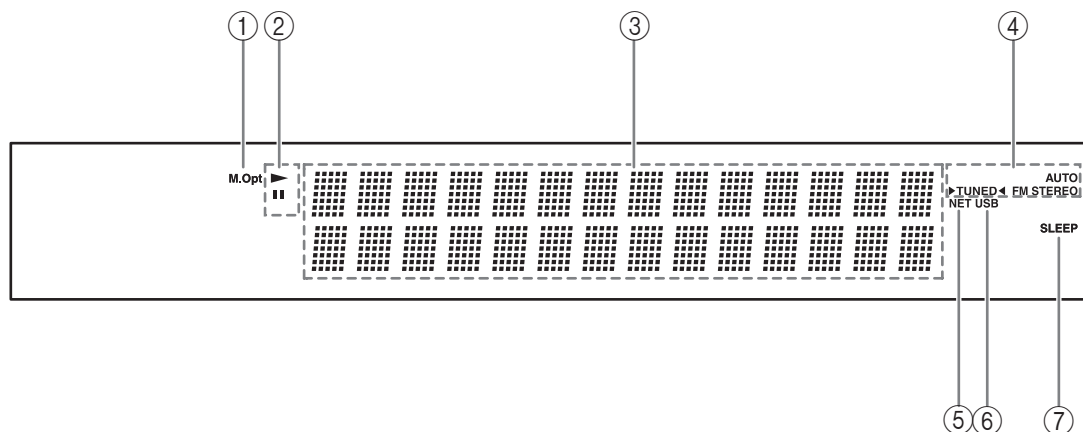
③ REMOTE CONTROL（リモート コントロール） 端子(12, 14)

④ DIGITAL OUT COAXIAL、OPTICAL、（デジタル アウト コアキシャル オプティカル）
AES / EBU 端子(12, 13)

⑤ ETHERNET（イーサネット） 端子(29)

⑥ 電源入力 AC 100V 端子(15)

接続については「接続をする」をご覧ください
(→ p.11 ～ 15)。

表示部

詳細については、( )内のページをご覧ください。

① M.Opt（ミュージックオプティマイザー） 表示

② ►、II 表示

③ 多目的表示部

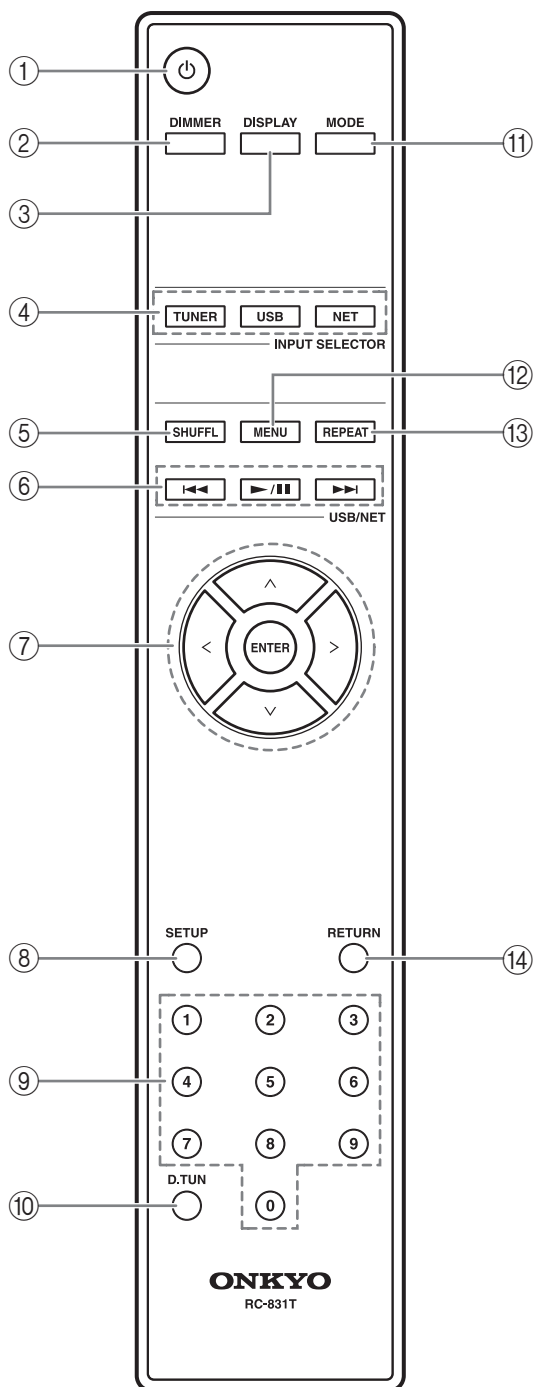
④ チューニング表示
- AUTO（オート） 表示(16)
- TUNED（チューンド） 表示(16)
- FM STEREO（ステレオ） 表示(16)

⑤ NET（ネット） 表示(23)

⑥ USB 表示(19)

⑦ SLEEP（スリープ） 表示(21)

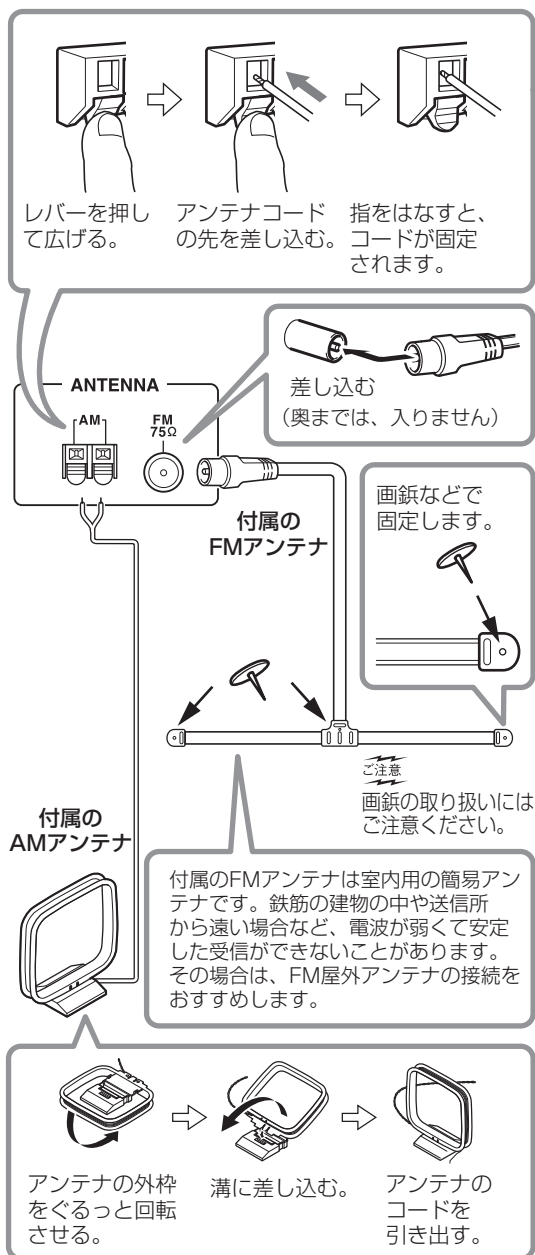
リモコン

詳細については、(　)内のページをご覧ください。

① ⏻ ボタン(15)
② DIMMER ボタン(32)
③ DISPLAY ボタン(20, 22, 27)
④ INPUT SELECTOR ボタン (16, 19, 23, 27)
⑤ SHUFFL ボタン(20, 21, 22)
⑥ コントロールボタン(17, 19, 23, 27)
⑦ </>/∧/∨、ENTER ボタン (16, 19, 23, 32, 36)
⑧ SETUP ボタン(21, 25, 32, 36)
⑨ 数字ボタン(17)
⑩ D.TUN ボタン(17, 18)
⑪ MODE ボタン(16, 19)
⑫ MENU ボタン(24, 26)
⑬ REPEAT ボタン(20, 21, 22)
⑭ RETURN ボタン(19, 27, 33)

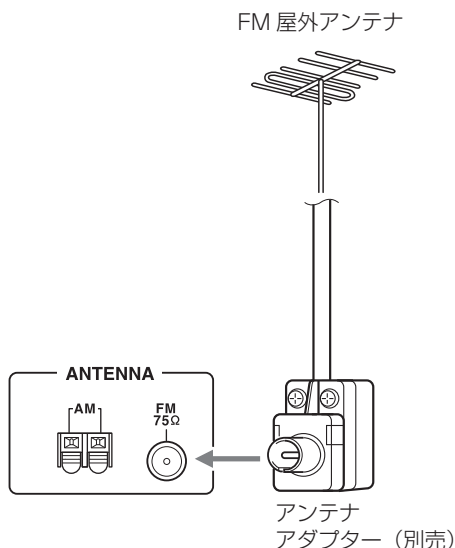
接続をする

ラジオのアンテナを接続する

付属の FM/AM アンテナを接続する

付属の FM/AM アンテナを接続します。
アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。ラジオの聴き方は「AM/FM 放送を聴く」(→ p. 16)をご覧ください。

！ヒント

AM アンテナのコードは、分岐した先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、左右や+ / −などの区別はありません。）

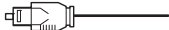
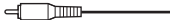
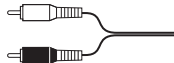
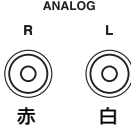
FM 屋外アンテナを接続する

FM 屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

！ヒント

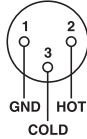
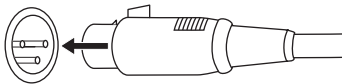
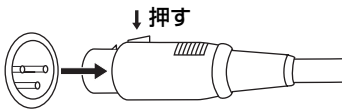
ケーブルテレビをご覧の方は、FM がテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定した FM 受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

接続の前に

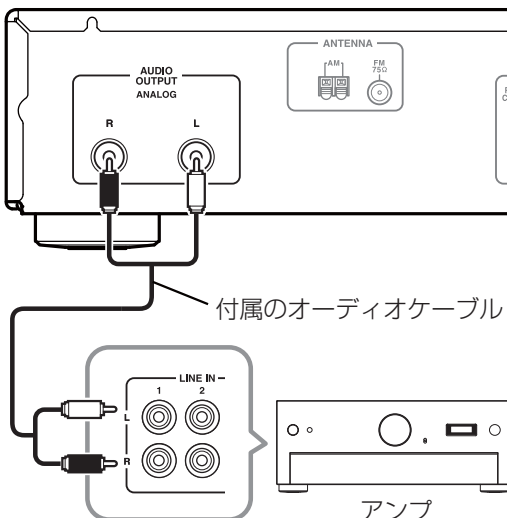
- AV 機器の接続を行う場合は、AV 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電源コードは、すべての接続が完了するまでつながないでください。
- プラグは奥までしっかり差し込んでください(ノイズや誤動作の原因になります)。
- ケーブル同士の接触を防ぐため、映像･音声ケーブルや電源･スピーカーコードが接近しないようにしてください。

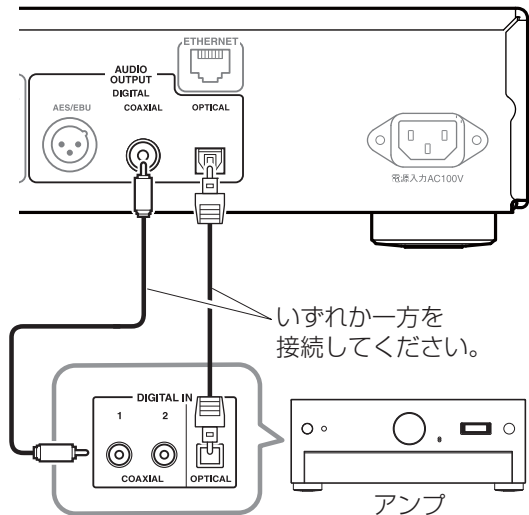
接続に必要なケーブルの名称と接続端子の形状

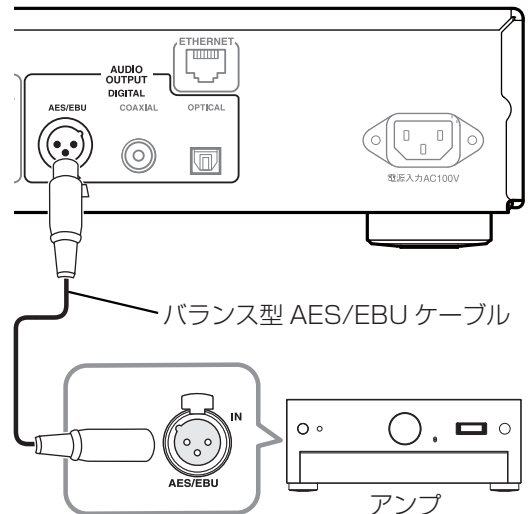
ケーブル	接続端子	説明
バランス型 AES/EBU ケーブル	AES/EBU	音声専用のデジタル転送規格に準拠した AES/EBU ケーブルを用いてデジタル音声信号を伝送します。バランスタイプの AES/EBU ケーブルは長いケーブル引き回しでもノイズを最小限に抑えるため長距離の伝送に適しています。 PCM 出力信号で利用できるサンプリングレートは、最大 96kHz/24bit、2 チャンネルです。
光デジタルケーブル（OPTICAL）	OPTICAL	PCM デジタル音声を楽しむことができます。 PCM 出力信号で利用できるサンプリングレートは、最大 96kHz/24bit、2 チャンネルです。
同軸デジタルケーブル（COAXIAL）	COAXIAL オレンジ	PCM デジタル音声を楽しむことができます。 PCM 出力信号で利用できるサンプリングレートは、最大 96kHz/24bit、2 チャンネルです。
オーディオ用ピンケーブル	ANALOG R 赤 / L 白	アナログ音声信号を伝送します。
USB	USB / iPod	USB メモリーや iPod/iPhone を接続できます。 HI-SPEED USB 2.0 に対応しています。
RI	RI REMOTE CONTROL	RI に対応したオンキヨーAV 機器を接続できます。

バランス型 AES/EBU 出力端子について

本機のバランス型 AES/EBU 出力端子の極性は下図のようになっています。

AES/EBU ケーブルを接続する
ピンの位置を合わせてカチッと音がするまで端子を差し込みます。ケーブルを軽く引っ張り、完全に接続されているかどうか確認してください。

AES/EBU ケーブルをはずす
コネクターケーブルのボタンを押しながら、矢印の方向にケーブルを引っ張ります。

アンプと接続する

アナログで接続する

付属のオーディオケーブルで、本機の AUDIO OUTPUT 端子とアンプの LINE IN 端子を接続します。

デジタル（OPTICAL（光）または COAXIAL（同軸））で接続する

デジタルオーディオケーブルで、本機の DIGITAL (OPTICAL/COAXIAL) 端子とアンプの DIGITAL IN 端子を接続します。

デジタル（AES/EBU）で接続する

バランス型 AES/EBU ケーブルで、本機の DIGITAL (AES/EBU) 端子とアンプの AES/EBU IN 端子を接続します。

オンキヨー製品と連動させる接続

RI 端子付きのオンキヨー製品を、RI ケーブルで接続すると、以下のような連動機能が可能です。RI ケーブルとは、オンキヨーのシステム動作用ケーブルです。

1 各オンキヨー製機器が、アナログまたはデジタルで接続されていることを確認してください。

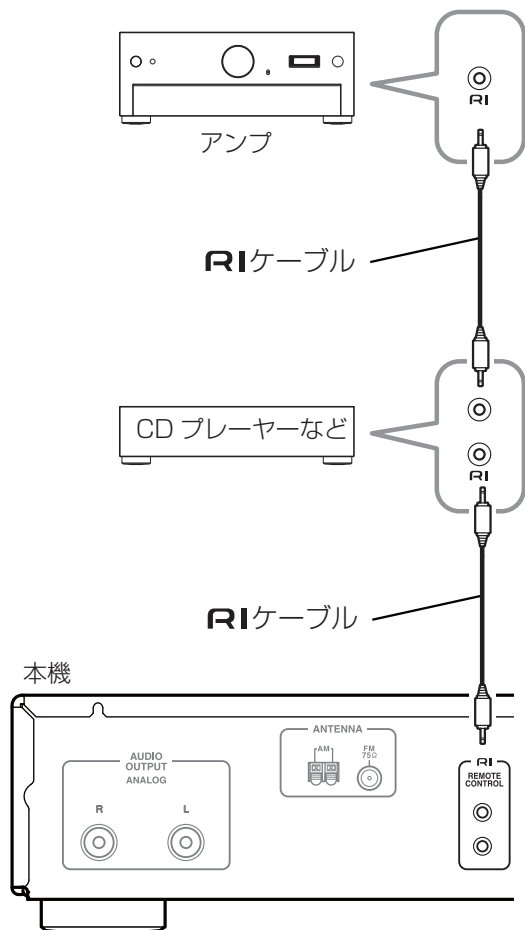
「アンプと接続する」(→ p. 13)をご覧ください。

2 RI ケーブルを接続します。

図のように接続してください。

■ オートパワーオン

本機の電源を入れると、自動的に本機と RI 接続されているアンプの電源が入ります。

* 一部対応していない機種(A-5VL、A-7VL など)があります。

■ ダイレクトチェンジ

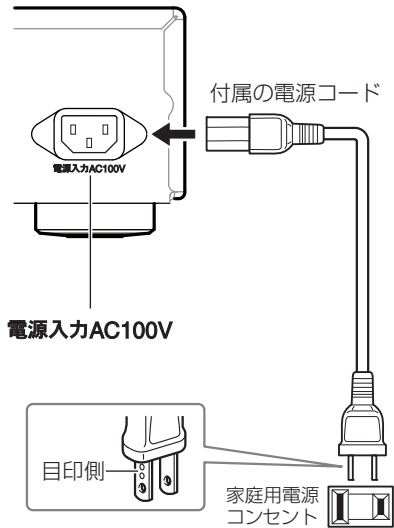
本機の再生を始めると、RI 接続されたアンプの入力ソースが自動的に切り換わります。

■ リモコン操作

オンキヨー製アンプのリモコンで本機を操作できます。
リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作します。
詳しくは接続するアンプの取扱説明書を参照ください。

ご注意

- 製品によっては、RI 接続をしても、一部の機能(オートパワーオンなど)が働かないことがあります。
- システム機能については、各機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- RI ケーブルの接続は、順序の指定はありません。
- RI 端子が 2 つある場合、2 つの端子の働きは同じです。どちらにでも接続できます。
- 新旧製品の連動動作の対応 / 非対応については、オンキヨーオーディオコールセンターにお問い合わせください。

電源コードを接続する

1 すべての接続が完了していることを確認します。

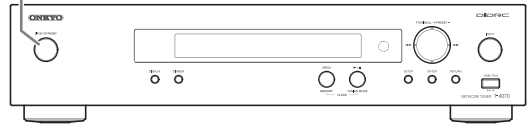
2 付属の電源コードを、本機の電源入力AC100V 端子に接続します。

3 電源コードを家庭用電源コンセントに接続します。

よりよい音で聴いていただくために
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を、家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

！ヒント

- ノイズを抑えるため、信号ケーブルと電源ケーブルは一緒に束ねず、お互いに離して配線してください。
- 家庭用電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態で、電源入力 AC100V 端子から電源コードを抜くと、感電する可能性があります。電源コードを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。
- 付属の本機専用電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、本機の電源をスタンバイにしてから抜いてください。

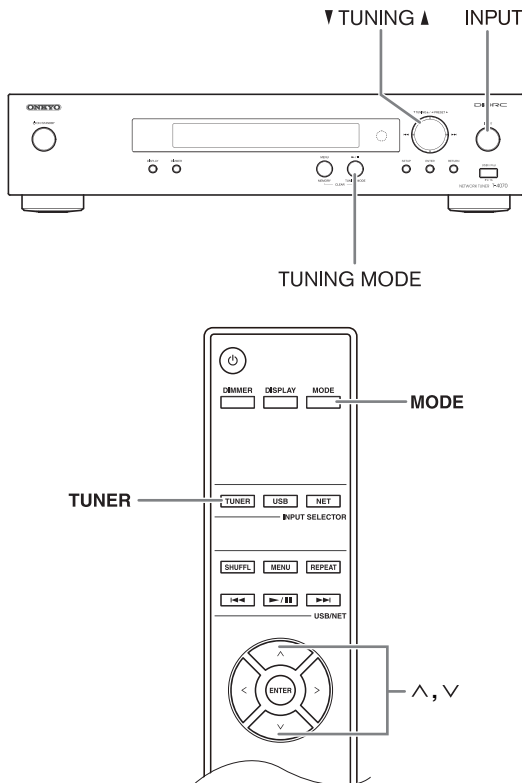
電源を入れる

前面パネルの [⏻ON/STANDBY] ボタンを押す
またはリモコンの [⏻] ボタンを押す

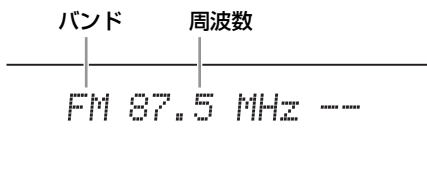
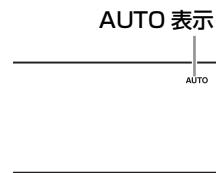
本機の電源がオンになり、表示部が点灯します。

本機の電源を切るときは、前面パネルの [⏻ON/STANDBY] ボタンまたはリモコンの [⏻] ボタンを押します。本機がスタンバイ状態になります。

ラジオを聴く

AM/FM 放送を聴く

本機に内蔵のチューナーで、AM または FM 放送をお楽しみいただけます。

1 本体の[INPUT]ボタンまたはリモコンの[TUNER] ボタンで[AM]または[FM]を選ぶ

以下は FM を選択したときの例です。

2 本体の [TUNING MODE]ボタンまたはリモコンの [MODE] ボタンを押し、選局モードを選ぶ

オート選局

「AUTO」表示が点灯。

このモードではステレオの受信になります。

手動選局

「AUTO」表示が消灯。

このモードではモノラルの受信になります。

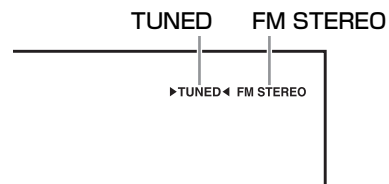
3 本体の TUNING [▲]/[▼]ボタンまたはリモコンの[∧]/[∨]ボタンを押して選局する

オート選局

自動的に選局を始め、局を受信すると停止します。

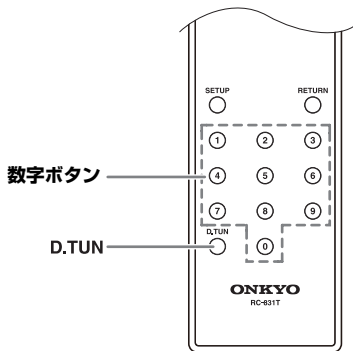
手動選局

ボタンを押すごとに周波数が変化します。受信する局に合わせます。

放送を受信すると、「TUNED」表示が点灯します。さらに FM ステレオ放送を受信したときは、「FM STEREO」表示が点灯します。

FM ステレオ放送の受信状態が悪い場合

受信している FM ステレオ放送の受信状態が悪い場合は、手動選局に切り換えることで改善される場合があります。ただし、手動選曲では音声はモノラルになります。

■ 周波数を直接入力して受信する場合

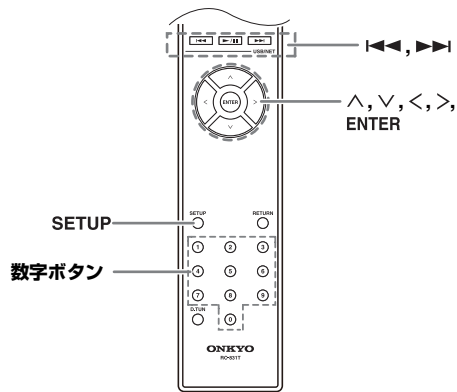
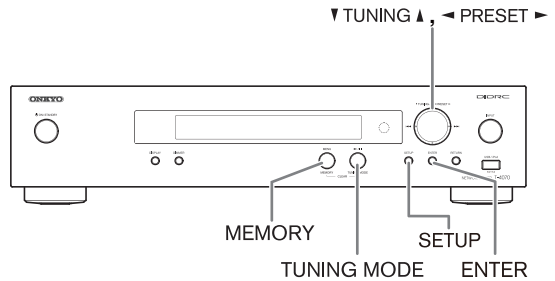
受信する局の周波数が分かっている場合は、次の方法で直接周波数を指定して受信することができます。

1 リモコンの[D.TUN]ボタンを押す

FM _ _._ MHz --

2 8 秒以内に数字ボタンを使って、受信する周波数を入力する

87.5MHz(FM)を受信する場合、[8] [7] [5]と入力します。入力後しばらくすると周波数が切り換わります。

局のプリセット（記憶）

AM/FM 放送合わせて 40 局までプリセットすることができます。

1 プリセットする局を受信する

2 本体の[MEMORY]ボタンを押す

FM 87.5 MHz --

3 プリセット番号が点滅している間に、本体の PRESET [◄]/[►]ボタンでプリセットする番号を 1 ～ 40 の中から選ぶ

4 本体の[MEMORY]ボタンを押す

プリセット番号の点滅が点灯に変わり、周波数がプリセットされます。

上記作業をくり返してご希望の局をプリセットします。

■ プリセットした局の選択

プリセットした局の選択は、リモコンの数字ボタンで番号を指定する

または、

本体の PRESET[◄]/[►]ボタンまたはリモコンの[<]/[>]ボタンで選択する

■ プリセットした局の削除

1 削除したいプリセット番号で受信する

プリセットした局の選択は前項目を参照。

2 [MEMORY]ボタンを押しながら、[TUNING MODE(チューニングモード)]ボタンを押す

プリセットが消去され、番号の表示が消えます。

■ 名前の編集

プリセットした局に名前を付けることができます。付けた名前は、プリセットで選択したときに、表示されます。

1 名前を編集したいプリセット番号で受信中に[SETUP(セットアップ)]ボタンを押す

プリセットした局の選択は前項目を参照。

2 本体の TUNING(チューニング) [▲]/[▼]ボタンまたはリモコンの[∧]/[∨]ボタンを押し、「1. Hardware(ハードウェア) Setup(セットアップ)」を選び、[ENTER(エンター)]ボタンを押す

3 本体の TUNING(チューニング) [▲]/[▼]ボタンまたはリモコンの[∧]/[∨]ボタンを押し、「Name(ネーム) Edit(エディット)」を選び、[ENTER]ボタンを押す

4 本体の TUNING(チューニング) [▲]/[▼]、PRESET(プリセット) [◄]/[►]ボタンまたはリモコンの[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンで文字を選び、[ENTER]ボタンを押す

くり返し 10 文字まで入力できます。

```
<■           >
■bcdefghijklm
```

- 文字列には小文字を中心とした文字列パターン 1 と、大文字を中心とした文字列パターン 2 があります。
  本体の TUNING [▲]/[▼]ボタンまたはリモコンの[∧]/[∨]ボタンを押すと、それぞれのパターンの中で文字列を選ぶことができます。
  本体の PRESET [◄]/[►]ボタンまたはリモコンの[<]/[>]ボタンを押して入力したい文字を選択し、[ENTER] ボタンを押します。表示されている文字列パターンの中に選びたい文字がない場合は、本体の TUNING [▲]/[▼]ボタンまたはリモコンの[∧]/[∨]ボタンで[Shift ← → BS OK]の文字列を表示し、本体の PRESET [◄]/[►]ボタンまたはリモコンの[<]/[>]ボタンで「Shift」を選んで[ENTER] ボタンを押すと、もう一つの文字列パターンになります。
- 入力できる文字列は下表をご覧ください。

1

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	
n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	=	`	
{	}	¦	:	"	<	>	?	Space					
Shift					<-		->		BS		OK		

2

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
!	@	#	$	%	^	&	*	(	)	_	+	~	
[	]	＼	;	’	,	.	/	Space					
Shift					<-		->		BS		OK		

アルファベット、数字、記号以外のコマンドの意味は下記の通りです。

Space:
スペースを入力します。

Shift*1:
アルファベットが大文字入力になります。

← / →:
入力位置のカーソルを左または右に移動します。

BS (Back Space)*2:
カーソルの位置から一つ前の文字を消します。

OK:
入力が終了し、指定した文字を登録する際に使用します。

*1 リモコンの[DIMMER]ボタンでも同様の働きをします。

*2 リモコンの[D.TUN]ボタンを押すと、入力中の文字をすべて消すことができます。

USB、ネットワーク内の音楽ファイルを再生する

ここでは、USB ストレージ(USB フラッシュメモリーなど)、ネットワーク上のサーバーや PC の音楽ファイルを再生する方法を説明します。

本機は日本語表示に対応していません。表示できない文字はアスタリスク(＊)に置き換わります。
本機は iPod/iPhone の映像出力には対応していません。

iPod/iPhone を USB ポートに接続する

iPod や iPhone を本機の USB ポートに接続すると、iPod や iPhone に保存されている音楽ファイルを再生することができます。

iPod または iPhone の音楽ファイルを再生する

iPod または iPhone に保存されている音楽ファイルを再生する手順について説明します。

以下の iPod/iPhone に対応しています。

・iPod touch(第一、第二、第三、第四世代、)
・iPod classic
・iPod nano(第二、第三、第四、第五、第六世代)
・iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPhone

1 リモコンの[USB]ボタンを押す

本体の [INPUT] ボタンで選択することもできます。

2 iPod/iPhone 付属の USB ケーブルで本機前面にある USB ポートに接続する

「USB」表示(→ p. 9)が点灯していれば iPod/iPhone に接続できています。「USB」表示が点滅している場合、本機が iPod/iPhone を認識できていません。

！ヒント

iPod/iPhone 付属の USB ケーブルで接続することを推奨します。

3 [MODE]ボタンを押して、Extended Mode に切り換える

本体の [TUNING MODE] ボタンを長押ししてモードを切り換えることもできます。

デバイス内容が表示されます。

- 初期設定では iPod/iPhone は Standard Mode として操作できます *1。
- [MODE]ボタンをもう一度押すと、Standard Mode に切り換わります。

4 [∧]/[∨]ボタンを押してフォルダーを選び、[ENTER] ボタンを押す

5 [∧]/[∨]ボタンを押して音楽ファイルを選び、[►/II]または[ENTER]ボタンを押して再生する

- ひとつ前の手順に戻るには[RETURN]ボタンを押してください。
- 停止または一時停止するには、[►/II]ボタンを押します。
- 次の曲を再生するには、[►►I]ボタンを押します。現在の曲の先頭を再生するには、[I◄◄]ボタンを押します。前の曲を再生するには、[I◄◄]ボタンを2回押します。
- 現在の曲を早送りするには、[►►I]ボタンを長押しします。現在の曲を早戻しするには、[I◄◄]ボタンを長押しします。

- リピートモードに切り換えるには、[REPEAT]ボタンを押します。シャッフルモードに切り換えるには、[SHUFFL]ボタンを押します。iPod/iPhone を接続しなおした場合は、iPod/iPhone の設定に戻ります。
- リピートモードとランダムモードを同時に使用することはできません。
- 表示を切り換えるには、[DISPLAY]ボタンを押します。ボタンを押すたびに再生中の曲の情報(アーティスト名、アルバム名、再生経過時間、曲時間、情報など)を切り換えて表示します。

■ Standard Mode で操作する

本体の表示部にコンテンツ情報は表示されず、iPod/iPhone および、本機のリモコンにて操作が可能です。

ビデオは音声のみ出力可能です。

■ Extended Mode で操作する

本体の表示部にコンテンツ情報が表示され、本体の表示部を見ながら選択および操作ができます。

[∧]/[∨]ボタンで以下のようにコンテンツ情報表示を切り換えできます。

- Playlists(プレイリスト)
- Artists(アーティスト)
- Albums(アルバム)
- Genres(ジャンル)
- Songs(曲)
- Composers(作曲者)
- Shuffle Songs(シャッフル)*2
- Now Playing(再生中)*3

ご注意

iPod/iPhone の機種・世代によっては、表示内容が異なる場合もあります。

*1 モードは iPod/iPhone を抜いても保存されているため、Extended Mode で抜いて、再度 iPod/iPhone を接続すると次回は Extended Mode で起動します。

*2 すべての曲をランダム再生します。

*3 再生している曲の情報を表示します。

！ヒント

上記の操作は本体の TUNING [▲]/[▼]、[I◄◄]/[►►I]、[►/II]、[ENTER]、[RETURN]、[DISPLAY]ボタンでも行えます。

AirPlay を使用する

本機は Apple 社の AirPlay を使用し iOS デバイスまたは iTunes のミュージックライブラリの音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

ご注意

AirPlay をお使いいただくには、以下のいずれかの機器が必要です。

- iOS 4.2 以降の iPad/iPhone/iPod touch
- iTunes 10 以降がインストール済みのパーソナルコンピュータ

！ヒント

iOS、iTunes のバージョンは常に最新版をお使いになることを推奨します。

AirPlay についての詳細または最新のバージョンにするためのソフトウェアアップデータは、Apple 社のホームページにて入手してください。

ネットワーク設定

1 本体とルーターを Ethernet ケーブルで接続する

詳しくは「NET/USB 機能を使用する」(→ p. 29)をご覧ください。

2 電源を On にする

再生する

以下の手順で再生することができます。

1 リモコンの [NET] ボタンで [AirPlay] を選ぶ

本体の [INPUT] ボタンで選択することもできます。

AirPlay の接続準備が完了すると「No Source」と表示されます。

2 iTunes または iPad/iPhone/iPod touch の AirPlay アイコン から「T-4070」(初期設定時)を選択する

本体の「No Source」表示を確認してから iTunes または iPad/iPhone/iPod touch を操作してください。

3 曲を選択して再生する

AirPlay 再生中に本機で以下の操作ができます。

- 停止または一時停止するには、[►/II] ボタンを押します。
- 次の曲を再生するには、[►►I] ボタンを押します。現在の曲の先頭を再生するには、[I◄◄] ボタンを押します。前の曲を再生するには、[I◄◄] ボタンを2回押します。
- リピートモードに切り換えるには、[REPEAT] ボタンを押します。シャッフルモードに切り換えるには、[SHUFFL] ボタンを押します。
- 表示を切り換えるには [DISPLAY] ボタンを押します。
  ボタンを押すたびに再生中の曲の情報(アーティスト名、アルバム名、再生経過時間、曲時間、情報など)を切り換えて表示します。

! ヒント

- iTunes や iPad/iPhone/iPod touch から接続されていない(AirPlay 未接続)場合、「No Source」と表示されます。
- iOS、iTunes のバージョンによっては上記の操作内容と異なる場合があります。
- iTunes の詳しい使用方法については、iTunes のヘルプをご覧ください。

設定する

以下の手順で AirPlay の設定を行うことができます。

1 リモコンの [NET] ボタンで [AirPlay] を選択してから [SETUP] ボタンを押す

本体の [INPUT] ボタンで選択することもできます。

2 [∧]/[∨] ボタンを押して [1. Hardware Setup] を選び、[ENTER] ボタンを押す

(ハードウェア セットアップ / エンター)

3 [∧]/[∨] ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

4 [<]/[>] ボタンを押して「On」/「Off」を切り換える

Auto Select

AirPlay 再生時に自動でチューナーの入力を「AirPlay」に切り換えます。

- **On**(初期設定)
- Off

Wake Up On AirPlay

チューナーがスタンバイ状態でも AirPlay の再生で電源が On になります。

- On
- **Off**(初期設定)

ご注意

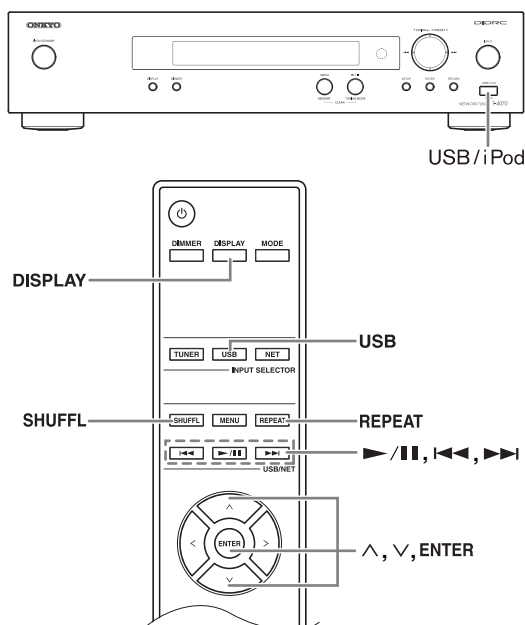
- この機能を「On」に設定すると、「SLEEP」表示がうす暗く点灯し、スタンバイ状態での消費電力が増加します。
- この機能を「On」に設定すると、Auto Select の設定も同時に「On」になります。

! ヒント

上記の操作は本体の TUNING [▲]/[▼]、PRESET [◄]/[►]、[SETUP]、[ENTER] ボタンでも行えます。

USB ストレージを USB ポートに接続する

USB ストレージを本機の USB ポートに接続すると、USB ストレージに保存されている音楽ファイルを再生することができます。

本機で再生できる音楽ファイルのフォーマットは「対応音声フォーマット」(→ p. 30)をご覧ください。

1 リモコンの[USB]ボタンを押す

本体の [INPUT] ボタンで選択することもできます。

2 本機のUSB端子に音楽ファイルが入ったUSB ストレージを接続する

「USB」表示が点灯し、「USB Storage」と表示されます。「USB」表示が点滅する場合は、USB ストレージの接続をご確認ください。

3 [ENTER] ボタンを押す

USB ストレージの内容が表示されます。

4 [∧]/[∨] ボタンを押してフォルダーを選び[ENTER]ボタンを押す

選択したフォルダー内の音楽ファイルがリスト表示されます。

USB ストレージ内にフォルダーが無い場合はこの手順は不要です。

5 [∧]/[∨]ボタンを押して音楽ファイルを選び、[►/❚❚]ボタンまたは[ENTER]ボタンを押して再生する

選択した音楽ファイルの情報が表示され、再生が開始されます。

- 停止または一時停止するには、[►/❚❚]ボタンを押します。
- 次の曲を再生するには、[►►❙]ボタンを押します。現在の曲の先頭を再生するには、[❙◄◄]ボタンを押します。前の曲を再生するには、[❙◄◄]ボタンを２回押します。
- 現在の曲を早送りするには、[►►❙]ボタンを長押しします。現在の曲を早戻しするには、[❙◄◄]ボタンを長押しします。
- リピートモードに切り換えるには、[REPEAT]ボタンを押します。ランダムモードに切り換えるには、[SHUFFL]ボタンを押します。
- 表示を切り換えるには、[DISPLAY]ボタンを押します。ボタンを押すたびに再生中の曲の情報(アーティスト名、アルバム名、再生経過時間、曲時間、情報など)を切り換えて表示します。
- 本体の[MENU]ボタンを押し続けると最初のメニューに移動します。

ご注意

- 本機で使用できない USB ストレージを接続すると、「No Storage」と表示されます。
- 本機では USB Mass Storage Class 規格に対応している USB ストレージを使用できます。
- USB ストレージのフォーマットは、FAT16、FAT32 に対応しています。
- 本機の USB 端子から電源供給を受けるタイプのハードディスクの動作は保証できません。
- USB ストレージに AC アダプターが付属している場合は、AC アダプターをつないで家庭用電源でお使いください。
- USB 対応オーディオプレーヤーと本機を接続した場合、オーディオプレーヤーの画面と本機の画面が異なる場合があります。またオーディオプレーヤーに依存する管理機能(音楽ファイルの分類、ソート、付加情報など)は本機では使用できません。
- 著作権保護された音声ファイルは本機では再生できません。

- USB ストレージの使用に際して、データの損失や変更、ストレージの故障などが発生しても弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。USB ストレージに保存されているデータは、本機でのご使用の前にバックアップを取っておくことをおすすめします。
- USB ストレージによっては、正しく内容を読み込めなかったり、電源が正しく供給されなかったりする場合があります。
- 本機はハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- 本機はセキュリティ機能付き USB メモリーに対応していません。
- 本機の USB 端子にパソコンを接続しないでください。本機の USB 端子にはパソコンから音声を入力できません。
- USB カードリーダーに挿したメディアは、この機能で使えないことがあります。
- USB ストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数の USB ストレージとして認識されます。
- USB ストレージやその内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- 電池で動作するオーディオプレーヤーを使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。

！ヒント

上記の操作は本体の TUNING [▲]/[▼]、[|◀◀]/[▶▶|]、[▶/II]、[ENTER]、[DISPLAY] ボタンでも行えます。

radiko.jp を聴く

本機をネットワークに接続する必要があります。
(→ p. 29)

radiko.jp は地上波ラジオ放送を CM も含め、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサイマルサービスです。

対応 (聴取可能) エリア、対応放送局について詳しくは radiko.jp の Web サイト(http://radiko.jp)をご覧ください。

1 リモコンの[NET(ネット)]ボタンで[NET(ネット)]を選ぶ

本体の [INPUT] ボタンで選択することもできます。

「NET」が表示され、「NET」表示が点灯します。点滅する場合は、イーサネットケーブルの接続をご確認ください。

2 [∧]/[∨]ボタンで「radiko.jp」を選び、[ENTER]ボタンを押す

本機が接続されているエリアに応じた放送局リストが表示されます。radiko.jp サービスが行われていない地域、もしくはサービス停止中の場合、エラー表示になります。

3 [∧]/[∨]ボタンを押して放送局を選び、[ENTER]ボタンを押す

再生が開始されます。

楽曲情報を提供している放送局を選択した場合は、楽曲のアーティスト名、楽曲名が表示されます。

再生状態で、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンを押すと、放送局が切り換わります。

ご注意

本体表示部は日本語表示には対応しておりません。表示できない文字はアスタリスク(＊)に置き換わります。

！ヒント

上記の操作は本体の TUNING [▲]/[▼]、[ENTER]、[|◀◀]/[▶▶|] ボタンでも行えます。

vTuner インターネットラジオを聴く

本機をネットワークに接続する必要があります。
(→ p. 29)

vTuner インターネットラジオは、世界中のインターネットラジオ局のポータルサイトです。音楽ジャンル別、国別などの区分で各地のラジオ局を検索できます。本機ではあらかじめ、vTuner インターネットラジオが登録されています。

1 リモコンの[NET]ボタンで[NET]を選ぶ

本体の [INPUT] ボタンで選択することもできます。

「NET」が表示され、「NET」表示が点灯します。点滅する場合は、イーサネットケーブルの接続をご確認ください。

2 [∧]/[∨]ボタンで「vTuner Internet Radio」を選び、[ENTER]ボタンを押す

3 [∧]/[∨]ボタンでフォルダーを選び、[ENTER]ボタンを押す

4 [∧]/[∨]ボタンでプログラムを選び、[ENTER]ボタンを押す

再生が開始されます。

以下のメニューを選択するには、[MENU] ボタンを押します。

Stations like this：

再生中の局と似た放送局を表示します。

Add to My Favorites：

局を My Favorites リストに登録します。

インターネットラジオサービスのトップ画面を表示するには、[RETURN] ボタンを長押ししてください。

■ vTuner インターネットラジオの番組をお気に入りに登録する

vTuner インターネットラジオの特定の番組(プログラム)を、再生しやすいようにお気に入りに登録できます。二通りの方法があります。

- **「My Favorites」に登録する**

  リモコンの[NET]ボタンを押した後に表示される「My Favorites」メニューに、お気に入りの番組を登録します。

  インターネットラジオ局を 40 局まで登録できます。

  1. 再生中のラジオ局またはラジオ局を選び、リモコンの [MENU] ボタンを押す
  2. 「Add to My Favorites」を選び、[ENTER] ボタンを押す
  3. [<] を押して「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押す

- **vTunerインターネットラジオの「ブックマーク」に登録する**

  vTuner インターネットラジオを選び、[ENTER] ボタンを押せば、ジャンル / 地域などと同じ画面に「Favorites」のフォルダが表示されます。

  この中にお気に入りのインターネットラジオ番組を登録します。本機と同じ LAN に接続されているパソコンを使います。

  http://onkyo.vtuner.com/ であなたの製品の MAC アドレスを登録すると、このブックマークの中にお気に入りのラジオ番組を登録できます。

  MAC アドレスは、セットアップ画面から「Network Setup」を選ぶと表示されます。

  詳しくは「設定メニュー」(→ p. 33)をご覧ください。

！ヒント

上記の操作は本体の TUNING [▲]/[▼]、[ENTER]、[MENU]、[RETURN] ボタンでも行えます。

他のインターネットラジオ局を登録する

本機をネットワークに接続する必要があります。(→ p. 29)

本機は、PLS 形式、M3U 形式、および Podcast (RSS)形式のインターネットラジオ局に対応しています。これらの形式のインターネットラジオ局であっても、データの種類や再生フォーマットによって、再生できないこともあります。

radiko.jp や v Tuner インターネットラジオ以外のインターネットラジオ番組を聴くには、以下の手順で番組を「My Favorites」に登録します。

ご注意

本体表示部は日本語表示には対応しておりません。表示できない文字はアスタリスク(＊)に置き換わります。

1 リモコンの[SETUP]ボタンを押す

2 [∧]/[∨]ボタンで「2. Network Setup」を選び、[ENTER]ボタンを押す

3 [∧]/[∨]ボタンで「IP Address」を選ぶ

IP アドレスをメモに控えます。

4 パソコンの電源を入れ、Internet Explorer® などのインターネットブラウザを開く

5 インターネットブラウザのURL欄に本機の IP アドレスを入力する

Internet Explorer® をご利用の場合は「ファイル」から「開く」を選び、IP アドレスを入力する方法もあります。

インターネットブラウザに本機の情報が表示されます(WEB Setup Menu)。

6 インターネットブラウザ画面上の「My Favorites」タブをクリックする

7 インターネットラジオ局の名前とURLを入力する

8 「Save」をクリックする

登録したインターネットラジオ局は「My Favorites」に追加されます。再生するには、リモコンの[NET]ボタンを押して、「My Favorites」を選び[ENTER]ボタンを押してください。

インターネットラジオ局が表示されますので、登録したインターネットラジオ局を選んで[ENTER]ボタンを押します。

！ヒント

上記の操作は本体の [SETUP]、TUNING [▲]/[▼]、[ENTER] ボタンでも行えます。

My Favorites に登録した放送局を聴く

「My Favorites」に登録するには 25 ページをご覧ください。

1 リモコンの[NET]ボタンで[NET]を選ぶ

本体の [INPUT] ボタンで選択することもできます。

「NET」が表示され、「NET」表示が点灯します。

点滅する場合は、イーサネットケーブルの接続をご確認ください。

2 [∧]/[∨]ボタンで「My Favorites」を選び、[ENTER]ボタンを押す

3 [∧]/[∨]ボタンでプログラムを選び、[ENTER]ボタンを押す

再生が開始されます。

以下のメニューを選択するには、[MENU]ボタンを押します。

Create new station
(新しいステーションを追加):

お好みのステーションやインターネットラジオサービスをお気に入りに追加できます。

Rename this station
(ステーション情報を変更):

お気に入りの名前を変更できます。

18 ページ「名前の編集」手順 4 を参照ください。

Delete from My Favorites
(My Favorites から削除):

お気に入りを削除します。

!ヒント

上記の操作は本体の TUNING [▲]/[▼]、[ENTER]、[MENU] ボタンでも行えます。

ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生する

本機をネットワークに接続する必要があります。(→ p. 29)

ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生できます。

ご注意

本体表示部は日本語表示には対応しておりません。表示できない文字はアスタリスク(＊)に置き換わります。

ネットワークサーバーの設定をする

再生したい音楽ファイルが入っているネットワークサーバーを設定します。

■ Windows Media® Player 11 の設定をする

1 パソコンの電源を入れ、Windows Media® Player 11 を開く

2 「ライブラリ」メニューから「メディアの共有」を選ぶ

「メディアの共有」ダイアログボックスが表示されます。

3 「メディアを共有する」チェックボックスにチェックを入れ、「OK」をクリックする

対応機器がダイアログボックスに表示されます。

4 T-4070 を選んで、「許可」をクリックする

T-4070 のアイコンがチェックの付いたものになります。

5 「OK」をクリックして、ダイアログボックスを閉じる

これで音楽ファイルを再生する準備が整いました。

■ Windows Media® Player 12 の設定をする

1 パソコンの電源を入れ、Windows Media® Player 12 を開く

2 「ストリーム」メニューを開き、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ

ダイアログが開きます。

3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする

ネットワーク内の再生機器の一覧が表示されます。

4 「メディアストリーミングオプション」で本機を選び、「許可」になっていることを確認する

5 「OK」をクリックして、ダイアログを閉じる

これで音楽ファイルを再生する準備が整いました。

音楽ファイルを再生する

1 ネットワークサーバーを起動する

たとえばネットワークサーバーとして Windows Media® Player 11 をお使いの場合は、パソコンの電源を入れ、Windows Media® Player 11 を開きます。

2 リモコンの[NET]ボタンで[NET]を選ぶ

本体の [INPUT] ボタンで選択することもできます。

「NET」表示が点灯します。点滅している場合は、ネットワークの接続を確認してください。

3 [∧]/[∨]ボタンを押して「DLNA」を選び、[ENTER] ボタンを押す

ネットワークサーバーのリストが表示されます。

前の画面に戻るには[RETURN] ボタンを押します。

4 [∧]/[∨]ボタンを押してサーバーを選び、[ENTER]ボタンを押す

ネットワークサーバーの項目がリスト表示されます。

- サーチ機能に対応していないネットワークサーバーでは、サーチ機能は働きません。
- 本機ではサーバー内の写真や動画ファイルにはアクセスできません。
- ネットワークサーバーの共有設定によっては、内容を表示できない場合があります。ネットワークサーバーの取扱説明書をご覧ください。

5 [∧]/[∨]ボタンを押して音楽ファイルを選び、[►/II]ボタンまたは[ENTER]ボタンを押す

選択した音楽ファイルの情報が表示され、再生が開始されます。

- 停止または一時停止するには、[►/II]ボタンを押します。
- 次の曲を再生するには、[►►I]ボタンを押します。現在の曲の先頭を再生するには、[I◄◄]ボタンを押します。前の曲を再生するには、[I◄◄]ボタンを２回押します。
- 現在の曲を早送りするには、[►►I]ボタンを押します。現在の曲を早戻しするには、[I◄◄]ボタンを長押しします。
- 表示を切り換えるには、[DISPLAY] ボタンを押します。ボタンを押すたびに再生中の曲の情報(アーティスト名、アルバム名、再生経過時間、曲時間、情報など)を切り換えて表示します。
- 本体の[MENU]ボタンを押し続けると最初のメニューに移動します。

！ヒント

上記の操作は本体の TUNING [▲]/[▼]、[ENTER]、[RETURN]、[►/II]、[I◄◄]/[►►I]、[DISPLAY] ボタンでも行えます。

ネットワークサーバー内の音楽をリモート再生する

本機をネットワークに接続する必要があります。
(→ p. 29)

リモート再生とは、ホームネットワーク内のDLNA準拠のコントローラー機器やPCを操作することによりそれぞれの機器に保存された音楽ファイルを本機で再生する機能です。

Windows Media® Player 12 の設定をする

ネットワークサーバーやPCに保存された音楽ファイルを本機で再生するためにWindows Media® Player 12を設定します。

1 パソコンの電源を入れ、Windows Media® Player 12を開く

2「ストリーム」メニューを開き、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ

ダイアログが開きます。

3「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする

ネットワーク内の再生機器の一覧が表示されます。

4「メディアストリーミングオプション」で本機を選び、「許可」になっていることを確認する

5「OK」をクリックして、ダイアログを閉じる

これでWindows Media® Player 12を使って本機でリモート再生をする準備が整いました。

リモート再生する

1 パソコンの電源を入れ、Windows Media® Player 12を開く

あらかじめ、Windows Media® Player 12の設定をしておく必要があります。

2 リモコンの[NET(ネット)]ボタンで[NET(ネット)]を選ぶ

本体の[INPUT]ボタンで選択することもできます。

「NET」表示が点灯します。点滅している場合は、ネットワークの接続を確認してください。

3 [∧]/[∨]ボタンを押して「DLNA」を選び、[ENTER(エンター)]ボタンを押す

ネットワークサーバーのリストが表示されます。

4 Windows Media® Player 12で再生したい音楽ファイルを選び右クリックする

右クリックメニューが表示されます。別のネットワークサーバー内の音楽ファイルをリモート再生するには、「その他のライブラリ」からネットワークサーバーを開き、再生したい音楽ファイルを選びます。

5 右クリックメニューから本機を選ぶ

再生したいファイルを右クリックし、「リモート再生」の一覧から本機を選択します。

Windows Media® Player 12の「リモート再生」ウィンドウが開き、本機で再生が開始されます。

リモート再生中の操作は、お使いのWindows 7の「リモート再生」ウィンドウで行います。本機から再生操作(再生や一時停止、早送り、早戻し、スキップアップ、スキップダウン、リピート、ランダムなど)はできません。

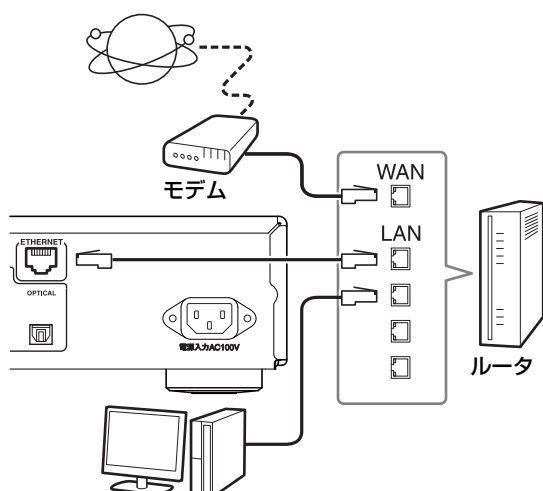
!ヒント

上記の操作は本体のTUNING [▲]/[▼]、[ENTER]ボタンでも行えます。

NET/USB 機能を使用する

ネットワーク機器の接続

次の図は、本機をどのようにホームネットワークに接続するかを示しています。

この例では、ISP（インターネットサービスプロバイダ）に接続された、4 ポートスイッチングハブ内蔵ルータに各機器を接続しています。

ホームネットワーク（LAN）について

複数の機器をケーブルなどで接続し、お互いに通信できるようにしたものをネットワークといいます。

家庭ではパソコンやゲーム機をインターネットに接続したり、複数のパソコンで相互にデータをやりとりしたりするために、ネットワークを作る（一般的に構築するといわれます）ケースが多いようです。

このように家庭内など比較的狭い範囲に構築されるネットワークは LAN（Local Area Network）と呼ばれます。

この取扱説明書では、この LAN のことをもう少し身近に感じられるようにホームネットワーク（家庭のネットワーク）と書いています。

本機はパソコンなどのネットワークサーバーと接続することでネットワークサーバー内（パソコン内）の音楽ファイルを再生したり、インターネットと接続することでインターネットラジオを聴いたりすることができます。

このとき、本機とパソコンやインターネットを直接接続するわけではありません。

パソコンやインターネットと接続するためにいくつかの機器（ネットワーク機器）が必要になります。

■ ルータ

本機とパソコンや、本機とインターネットの間に入って情報（データ）の流れをコントロールするのが、このルータという機器です。

ネットワークでは情報（データ）の流れをトラフィック（日本語では「交通」の意）といいます。ルータは各機器の中でトラフィックコントロールつまり情報の交通整理をする役割を担っています。

- 本機では 100Base-TX スイッチ内蔵のブロードバンドルータの使用を推奨します。
- また、DHCP 機能搭載のルータであれば、ネットワークの設定を簡単にすることができます。
- ISP（インターネットサービスプロバイダ）と契約している場合（後述モデムの項参照）には、契約する ISP 業者が推奨するルータをご使用ください。

これらのルータについてはお買い求めの販売店または契約されている ISP にご相談ください。

■ イーサネットケーブル（CAT5）

ネットワークを構成する機器同士を実際につなぎ合わせるのが、このイーサネットケーブルです。イーサネットケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルがあります。

- 本機では CAT-5 に適合したイーサネットストレートケーブルを使用します。

イーサネットケーブルについてはお買い求めの販売店にご相談ください。

■ ネットワークサーバー（パソコンなど / ネットワークサーバー使用時）

音楽ファイルを入れておいて、再生時に本機に曲を提供する機器です。

- 本機で使用する際に必要な条件は、ネットワークサーバーとして使用する機器によって異なります。
- 本機は、Windows Media® Player 12、DLNA 準拠サーバーに対応しています。
- 本機で音楽ファイルを快適に再生するための条件は、使用するネットワークサーバー（パソコンの性能）に依存します。それぞれの機器使用については、各取扱説明書をご覧ください。

■ モデム（インターネットラジオ使用時）

ホームネットワーク(LAN)とインターネットを接続する機器です。

モデムにはインターネットと接続する形式によってさまざまな種類があります。

また、インターネットに接続するには ISP(インターネットサービスプロバイダ)というインターネットへの接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。

インターネット接続には、契約する ISP 業者が推奨するモデムをご使用ください。

1 台でルータとモデムの機能を併せ持つ機器もあります。

以上のネットワーク機器のうち、NET 機能「ネットワークサーバー」を使用するには、ルータ、イーサネットケーブル、ネットワークサーバーが必要になります。

NET 機能「インターネットラジオ」を使用するには、ルータ、イーサネットケーブル、モデム(および ISP との契約)が必要になります。

サーバーについて

■ ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生

本機は、Windows Media® Player 11、12、DLNA 準拠サーバーに対応しています。

ネットワークサーバーは本機と同じネットワークに接続していなければなりません。

1 フォルダにつき 20000 曲まで、フォルダは 16 階層まで対応しています。

ご注意

メディアサーバーの種類によっては、本機から認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。

■ リモート再生

Windows Media® Player 12

DLNA 1.5 準拠のネットワークサーバー、コントローラー機器

※ 設定方法は使用するネットワークサーバーやコントローラー機器によって異なります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

！ヒント

Windows 7 では、Windows Media® Player 12 が標準でインストールされています。詳しくは、マイクロソフト社のホームページをご覧ください。

Windows Vista® では Windows Media Player 11 が標準でインストールされています。

Windows Media® Player 11 for Windows XP はマイクロソフト株式会社のウェブサイトから無料でダウンロードできます。

詳しくは、マイクロソフト株式会社のホームページをご覧ください。

USB ストレージについて

- 本機では USB Mass Storage Class 規格に対応している USB ストレージを使用できます。
- USB ストレージのフォーマットは、FAT16、FAT32 に対応しています。
- USB ストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数の USB ストレージとして認識されます。
- 本機はハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- 1 フォルダにつき 20000 曲まで、フォルダは 16 階層まで対応しています。

対応音声フォーマット

本機で再生できる音楽ファイルのフォーマットは次の通りです。

- 下記のフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。
  たとえば、Windows Media® Player11 をお使いの場合、パソコンに入っているすべての音楽ファイルが再生できるわけではなく、Windows Media® Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみが再生できます。
- VBR(可変ビットレート)で記録されたファイルを再生した場合、再生時間が正しく表示されないことがあります。

ご注意

リモート再生は、FLAC および Ogg Vorbis には対応していません。

■ MP3

- 対応フォーマット：MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer-3
- 対応サンプリングレート：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- 対応ビットレート：8 ～ 320 kbps および VBR
- チャンネル数：2
- MP3 ファイルのファイル名拡張子は「.mp3」または「.MP3」です。

■ WMA

- 著作権保護されたファイルは、再生できないことがあります。
- 対応サンプリングレート： 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- 対応ビットレート： 5 ～ 320 kbps および VBR
- チャンネル数：2
- WMA Pro(プロ)/Voice(ボイス) 非対応
- WMA ファイルのファイル名拡張子は「.wma」または「.WMA」です。

WMA DRM コンテンツを再生する場合、著作権保護のため AES/EBU 端子からの音声出力は行われません。

■ WMA Lossless(ロスレス)

- 対応サンプリングレート： 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 対応ビットレート： 5 ～ 320 kbps および VBR
- 量子化ビット： 16 bit(ビット)、24 bit
- チャンネル数：2
- WMA ファイルのファイル名拡張子は「.wma」または「.WMA」です。

■ WAV

WAV ファイルは非圧縮の PCM デジタルオーディオを含みます。

- 対応サンプリングレート： 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 量子化ビット： 8 bit、16 bit、24 bit
- チャンネル数：2
- WAV ファイルのファイル名拡張子は「.wav」または「.WAV」です。

■ AAC

- 対応フォーマット： MPEG-2/MPEG-4 Audio
- 対応サンプリングレート： 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 対応ビットレート： 8 ～ 320 kbps および VBR
- チャンネル数：2
- AAC ファイルのファイル名拡張子は「.aac」、「.m4a」、「.mp4」、「.3gp」、「.3g2」、「.AAC」、「.M4A」、「.MP4」、「.3GP」または「.3G2」です。

■ FLAC

- 対応サンプリングレート： 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 量子化ビット： 8 bit、16 bit、24 bit
- チャンネル数：2
- FLAC ファイルのファイル名拡張子は「.flac」または「.FLAC」です。

■ Ogg(オッグ) Vorbis(ボルビス)

- 対応サンプリングレート： 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- 対応ビットレート： 48 ～ 500 kbps および VBR
- チャンネル数：2
- Ogg ファイルのファイル名拡張子は「.ogg」または「.OGG」です。

■ LPCM (Linear(リニア) PCM)

- 対応サンプリングレート： 8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 量子化ビット： 8 bit、16 bit、24 bit

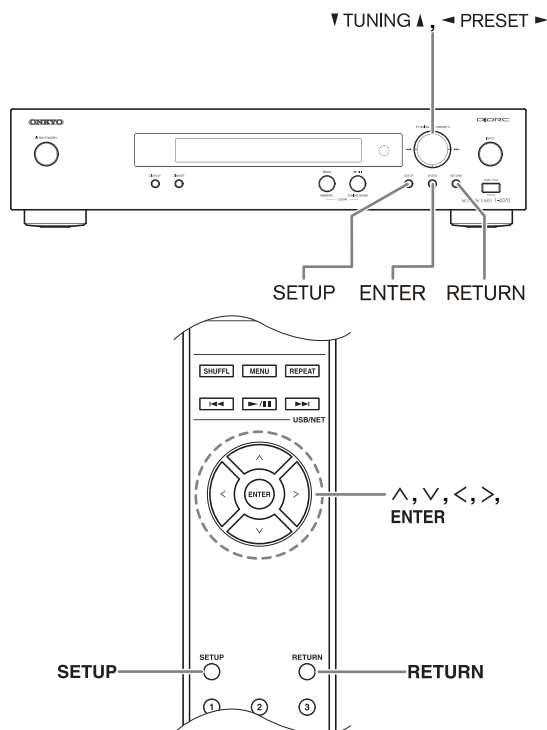
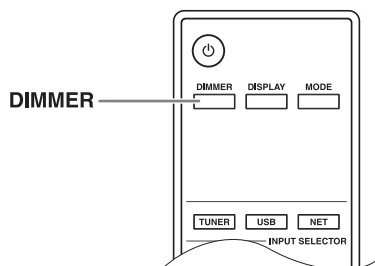
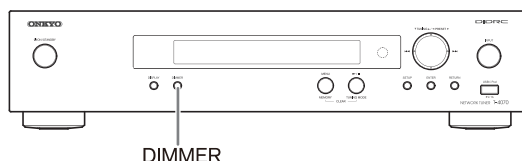
* ネットワーク経由での再生のみに対応しています。

DLNA について

DLNA とは、Digital(デジタル) Living(リビング) Network(ネットワーク) Alliance(アライアンス) の略称で、ホームネットワーク（LAN）によってパソコンやゲーム機、デジタル家電を相互に接続し、音楽や画像、動画などのデータをやりとりするための標準化を進めている団体の名称です。本機は、DLNA ガイドライン V1.5 に準拠しています。

設定をする

表示部の明るさを変える

表示部の明るさを変えることができます。

[DIMMER]ボタンをくり返し押す

ボタンを押すたびに少し暗く→暗く→標準を繰り返します。

設定メニューの操作手順

ここでは設定メニューの変更のしかたを「Music Optimizer」を例に説明します。

Music Optimizer

ミュージックオプティマイザーは圧縮された音楽ファイルの再生時に、音のクォリティを引き上げます。MP3 などの非可逆圧縮された音楽ファイルを再生するときに使用してください。

ミュージックオプティマイザーはサンプリングレートが 96kHz 以上のソースの場合、無効になります。

1 本機の電源を入れる

2 リモコンの [SETUP] ボタンを押す

設定メニューが表示されます。

3 [∧]/[∨] ボタンを押し、「1. Hardware Setup」を選び、[ENTER] ボタンを押す

```
1.Hardware
     Setup
```

4 [∧]/[∨] ボタンを押し、「Music Optimizer: Off」を選ぶ

```
MusicOptimizer
         : off
```

5 [<]/[>] ボタンを押し、「On」を選ぶ

```
MusicOptimizer
         :  on
```

6 リモコンの [SETUP] ボタンを押す

セットアップが完了し、元の表示に戻ります。

！ヒント

- 上記の操作は、本体の [SETUP]、TUNING [▲]/[▼]、PRESET [◄]/[►]、[ENTER] ボタンでも行えます。
- [RETURN] ボタンで直前の操作メニューに戻ることができます。

設定メニュー

1. Hardware Setup

Auto Standby：

「On」に設定したとき、音声入力がない状態で本機を 30 分間操作しないでいると、自動的にスタンバイ状態へ移行します。

スタンバイ状態へ移行する 30 秒前になると「Auto Standby」と点滅表示されます。

初期設定は「Off」です。

ご注意

- この設定を「On」にした場合、ソースによっては、再生中にスタンバイ状態に移行することがあります。

Music Optimizer：

「設定メニューの操作手順」（→ p. 32）をご覧ください。

2. Network Setup

ここでは手動でネットワークの設定を行う場合の設定方法を説明しています。

DHCP でホームネットワーク（LAN）を構築している場合は、「DHCP」を「Enable（有効）」にすれば、ホームネットワーク（LAN）で使用できるようになります。（初期設定では、この状態になっています。）

各機器に固定 IP アドレスを割り当てている場合は、「IP アドレス」で本機に IP アドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなどお使いのホームネットワーク（LAN）に関する情報を入力する必要があります。

ご注意

Setup メニューの表示は、本機の起動後数十秒後に有効になります。

MAC Address

本機の MAC アドレスを確認できます。この値は機器固有のもののため、変更することはできません。

DHCP

本機の DHCP クライアント機能の有効 / 無効を設定します。

DHCP でホームネットワーク（LAN）を構築している場合は「Enable（有効）」に、ホームネットワーク（LAN）に接続されている各機器に固定 IP アドレスを割り当てている場合は「Disable（無効）」に設定してください。

初期設定は [Enable] です。

ご注意

DHCP を「Disable」に設定した場合は、「IP Address」、「IP Address 2」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」の設定が必要です。

IP Address

本機の IP アドレスを表示または設定します。

この値はインターネットラジオおよび DLNA を使用する際のアドレスです。

DHCP が「Enable（有効）」な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。

この値を設定する際、ホームネットワーク（LAN）に接続されている他の機器とアドレスが重複しないよう、ご注意ください。設定方法は次のとおりです。

アドレス設定方法

1. 設定する項目（IP アドレス、サブネットマスクなど）を選択し、[ENTER] ボタンを押します。
2. [<]/[>] ボタンを使って数値を選択し、[ENTER] ボタンで入力します。3 桁入力すると、自動的に次のセクションに移動します。入力を誤った場合は、[∧]/[∨] ボタンで誤入力したセクションを選択し、数値を入力し直してください。
3. 入力する数値が 3 桁に満たない場合は、[∧] ボタンで次のセクションに移動します。
4. すべてのセクションの入力が終わったら、[RETURN] ボタンを押して「Save」を選択します。

IP Address 2

本機の IP アドレスを表示または設定します。

この値は AirPlay を使用する際のアドレスです。

DHCP が「Enable(有効)」な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。この値を設定する際、ホームネットワーク(LAN)に接続されている他の機器とアドレスが重複しないよう、ご注意ください。

設定方法は IP Address と同じです。詳しくは「アドレス設定方法」(→ p. 33)をご覧ください。

Subnet Mask

ホームネットワーク(LAN)のサブネットマスクを表示または設定します。DHCP が有効な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。入力方法は IP Address と同じです。詳しくは「アドレス設定方法」(→ p. 33)をご覧ください。

Gateway

ホームネットワーク(LAN)のゲートウェイアドレスを表示または設定します。DHCP が有効な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。入力方法は IP Address と同じです。詳しくは「アドレス設定方法」(→ p. 33)をご覧ください。

DNS Server

ホームネットワーク(LAN)の DNS サーバー(プライマリ)を表示または設定します。DHCP が有効な場合、この値は自動的に設定され、変更できません。入力方法は IP Address と同じです。詳しくは「アドレス設定方法」(→ p. 33)をご覧ください。

Proxy URL

プロキシサーバーの URL を入力します。URL が不明な場合は、ご使用の ISP にお問い合わせください。入力方法は「Name Edit」と同じです。詳しくは「名前の編集」(→ p. 18)をご覧ください。

Proxy Port

この設定は上記「プロキシ URL」設定が入力されているときだけ機能します。プロキシサーバーのポート番号を入力します。ポート番号が不明な場合は、ご使用の ISP にお問い合わせください。入力方法は IP Address と同じです。詳しくは「アドレス設定方法」(→ p. 33)をご覧ください。

Network Control

外部コントローラーからの本機のコントロールを許可するかどうか設定します。「Enable(有効)」にすると、外部コントローラーから本機をコントロールできるようになり、「Disable(無効)」にするとコントロールを禁止します。

初期設定は[Disable]です。

ご注意

「Enable(有効)」に設定すると、「NET」表示がうす暗く点灯し、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

Control Port

この設定は上記「Network Control」設定が有効のときだけ機能します。外部コントローラーからのコントロール信号を受けるポート番号を設定します。外部コントローラー側の設定に合わせてください。49152 ～ 65535 の間で設定してください。

- 設定を終了するとき、設定値に変更があると「Save [Enter]:Select」と表示されます。
  変更を保存する場合は [ENTER] ボタンを押してください。
- 設定を最初からやり直す場合は [∨] ボタンを押して「Cancel [Enter]:Select」を選び、[ENTER] ボタンを押してください。
  [RETURN] ボタンを押すことで同様の操作が可能です。

3. Firmware Update

詳しくは「ファームウェアの更新について」(→ p. 35)をご覧ください。

オンキヨーホームページからご案内があった場合のみ実行してください。最新の情報はオンキヨーホームページをご覧ください。

ファームウェアのアップデートには約 5 ～ 30 分かかります。(おおよその所要時間が本体に表示されます。)

Setup メニューの表示は、本機の起動後数十秒後に有効になります。

Version

現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

Tuner

via NET:

本機のファームウェアをインターネット経由でアップデートすることができます。アップデートを実行するときは、インターネットへの接続を確認してください。

via USB:

アップデート用ソフトウェアを保存した USB メモリーを、本機の USB ポートに接続してアップデートすることができます。

アップデート中は本機の電源をオフにしないでください。

ファームウェアの更新について

ファームウェアの更新には、次のような方法があります。お客様の環境に応じて、いずれかの方法で更新してください。操作を始める前に、更新手順をよくお読みください。

ファームウェアの更新には 5 ～ 30 分かかります。（おおよその所要時間が本体に表示されます。）

■ ネットワーク経由で更新する

インターネット接続が必要です。

■ USB 経由で更新する

USB メモリーなどの USB ストレージをご用意ください。32MB 以上の容量が必要です。

ご注意

- アップデートの前に、ネットワークの接続を確認してください。
- アップデート中は絶対に本機に接続されているケーブルや機器に触らないでください。
- アップデート中は絶対に本機の接続を外したり電源を落としたりしないでください。
- アップデート中は PC から本機にアクセスしようとしないでください。
- USB カードリーダーに挿入したメディアは、この機能で使えないことがあります。
- USB ストレージがパーティションで区切られている場合、本機では複数の USB ストレージとして認識されます。
- USB ストレージやその内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- USB ストレージによっては、正しく内容を読み込めなかったり、電源が正しく供給されなかったりする場合があります。
- USB ストレージの使用に際して、データの損失や変更、ストレージの故障などが発生しても弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- USB ストレージに AC アダプターが付属している場合は、AC アダプターをつないで家庭用電源でお使いください。
- 本機は、ハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- 本機は、セキュリティ機能付き USB メモリーに対応していません。

免責事項

本プログラムおよび付随するオンラインドキュメンテーションは、お客様の責任においてご使用いただくために提供されます。弊社は、法理に関わらず、また不法行為や契約から生じるかを問わず、本プログラムまたは付随するオンラインドキュメンテーションの使用に際して生じたいかなる損害および請求に対して責任を負うものではなく、賠償することもありません。

弊社は、いかなる場合においても、補償、弁済、損失利益または逸失利益、データの損失その他の理由により生じた損害を含む（ただしこれらに限定されない）、特別損害、間接的損害、付随的又は派生的損害について、お客様または第三者に対して一切の責任を負いません。

最新の更新情報につきましては、弊社ウェブサイトをご覧ください。

ネットワーク経由でのファームウェア更新手順

後面パネルのネットワーク接続を利用してファームウェアをアップデートできます。

ご注意

- 本機の電源が入っていることと、LAN ケーブルが本機の後面パネルに接続されていることを確認してください。
- アップデート中は絶対に本機の接続を外したり電源を切ったりしないでください。
- アップデート中は PC から本機にアクセスしようとしないでください。
- アップデート中は LAN ケーブルを抜き差ししないでください。
- アップデート完了まで 5 ～ 30 分かかります。（おおよその所要時間が本体に表示されます。）
- アップデート完了後も、お客様が行った諸設定は保持されます。

ファームウェアの更新を始める前に

- イーサネットネットワークに接続されたコントロール機器の電源をオフにしてください。
- 再生中のインターネットラジオ、iPod/iPhone、USB、または、サーバーなどを止めてください。

更新手順

1 リモコンの[SETUP]ボタンを押す

設定メニューが表示されます。

2 [∧]/[∨]ボタンを押し、「3. Firmware Update」を選び、[ENTER]ボタンを押す

現在設定されているファームウェアバージョンが表示されます。

ご注意

ファームウェア設定メニューの表示には数十秒かかる場合があります。

3 [∧]/[∨]ボタンを押し、「Via NET」を選び、[ENTER]ボタンを押す

4 「Update」と表示されるので、[ENTER]ボタンを押す

本機はアップデートを開始します。

アップデートの進行状況は本体表示部で確認できます。

5 アップデートが完了すると「Completed!」というメッセージが本機の表示部に表示されます。

6 前面パネルの[⏻ON/STANDBY]ボタンを押し、本機の電源を切る

このときリモコンの[⏻]ボタンは使用しないでください。

本機の電源が再度自動的に入ります。

これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

！ヒント

上記の操作は本体の [SETUP]、TUNING [▲]/[▼]、[ENTER] ボタンでも行えます。

トラブルシューティング

ケース 1：

本機の表示部で「No Update」と表示されたら、ファームウェアが既に更新済みであることを示しています。アップデートの必要はありません。

ケース 2：

エラー時は、本機の表示部で「Error!! *-** No media」と表示されます。（アスタリスクは表示される英数字を表しています。）以下の説明を参照し、確認してください。

■ **エラーコード（ネットワーク経由のアップデート中）**

エラーコード	エラー内容および対処方法
*-10, *-20	LAN ケーブルが認識できません。 LAN ケーブルを正しく接続してください。 接続方法については、「ネットワーク機器の接続」をご覧ください（→ p. 29）
*-11, *-13, *-21, *-28	インターネットに接続できません。 下記の項目を確認してください。 • IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS サーバーが正しく設定されているか確認してください。 • ルータの電源が入っているか確認してください。 • 本機とルータが LAN ケーブルでつながっているか確認してください。 • ルータの設定を確認してください。設定については、ルータの取扱説明書をご覧ください。 • ネットワーク接続環境によっては、プロキシサーバーを設定する必要があります。設定については、ご利用の回線業者やプロバイダの資料をご確認ください。 • それでもインターネットにつながらない時は、DNS サーバーまたはプロキシサーバーが停止している可能性があります。 サーバーの稼働状況をプロバイダにご確認ください。
その他	もう一度最初からやり直してください。何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを末尾に記載のコールセンターまでご連絡ください。

ケース 3：

アップデート中にエラーが発生した場合は、電源コードを抜き、再度接続してファームウェアアップデートを再度行ってください。

ケース 4：

入力ソースが間違っていてエラーが発生した場合は、電源を一旦切り、電源を入れなおしてからファームウェアアップデートを再度行ってください。

ケース 5:

ネットワーク環境がない場合は、巻末に記載のコールセンターへご連絡ください。

USB 経由でのファームウェア更新手順

USB 端子を利用してファームウェアをアップデートできます。

ご注意

- アップデート中は絶対に本機の接続を外したり電源を切ったりしないでください。
- アップデート中は USB ストレージを抜き差ししないでください。
- アップデート中は PC から本機にアクセスしようとしないでください。
- アップデート完了まで 5 ～ 30 分程度かかります。（おおよその所要時間が本体に表示されます。）
- アップデート完了後も、お客様が行った諸設定は保持されます。

1 お使いのパソコンに USB ストレージを接続し、USB ストレージ内にデータがある場合は消去する

2 弊社ホームページからパソコンにファームウェア・ファイルをダウンロードする

ファームウェアには、以下のようなファイル名がついています。

ONKTUN****_************.zip

パソコン上でこのファイルを解凍してください。

下記の 2 つのファイルができます。

ONKTUN****_************.of1

ONKTUN****_************.of2

3 解凍したファイルを USB ストレージにコピーする

解凍する前のファイルはコピーしないでください。

4 上記のUSBストレージを本機のUSB端子に接続する

5 本機の電源が入っていることを確認する

本機がスタンバイ状態のときは、[⏻ON/STANDBY]ボタンを押して本機の表示部を点灯させせます。

6 入力ソースを「USB」にする

表示部に「Now Initializing」と表示されたのちUSB ストレージ名が表示されます。

USB ストレージを認識するのに 20 ～ 30 秒かかります。

7 リモコンの[SETUP(セットアップ)]ボタンを押す

メインメニューが表示部に表示されます。

8 [∧]/[∨]ボタンを押し、「3. Firmware Update」を選び、[ENTER]ボタンを押す

9 [∧]/[∨]ボタンを押し、「Via USB を選び、[ENTER]ボタンを押す

10 「Update」と表示されるので、[ENTER]ボタンを押す

本機はアップデートを開始します。

アップデートの進行状況は本体表示部で確認できます。

11 アップデートが完了すると「Completed!」というメッセージが本機の表示部に表示されます。

表示が出たら USB ストレージを抜いてください。

12 前面パネルの[⏻ON/STANDBY]ボタンを押し、本機の電源を切る

このときリモコンの[⏻]ボタンは使用しないでください。

本機の電源が再度自動的に入ります。

これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

！ヒント

上記の操作は本体の [SETUP]、TUNING [▲]/[▼]、[ENTER] ボタンでも行えます。

トラブルシューティング

ケース 1：

本機の表示部で「No Update」と表示されたら、
ファームウェアが既に更新済みであることを示しています。アップデートの必要はありません。

ケース 2：

エラー時は、本機の表示部で「Error!! *-** No media」と表示されます。（アスタリスクは表示される英数字を表しています。）エラーコードを参照し、確認してください。

■ エラーコード（USB 経由のアップデート中）

エラーコード	エラー内容および対処方法
*-10, *-20	USB ストレージが認識できません。USB メモリーや USB ケーブルが、本機の USB 端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。USB ストレージで外部電源を供給できる製品は、外部電源をご使用ください。
*-14	USB ストレージのルートフォルダにアップデートファイルが存在しない、お使いの機種と異なるアップデートファイルが使用されている、などが考えられます。サポートページの案内に従って、もう一度アップデートファイルのダウンロードからやり直してください。何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを巻末に記載のコールセンターまでご連絡ください。
その他	もう一度最初からやり直してください。何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを末尾に記載のコールセンターまでご連絡ください。

ケース 3：

アップデート中にエラーが発生した場合は、電源コードを抜き、再度接続してファームウェアアップデートを再度行ってください。

ケース 4：

入力ソースが間違っていてエラーが発生した場合は、電源を一旦切り、電源を入れなおしてからファームウェアアップデートを再度行ってください。

困ったときは

まず下記の内容を点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

オンキヨーホームページからも、製品の取り扱い方法や FAQ(よくあるご質問)をお調べいただくことができます。

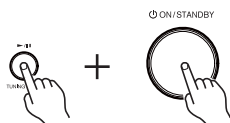
http://www.jp.onkyo.com/support/

！ヒント

修理を依頼される前に

本機が動作しなくなったり、操作ができなくなったときは、本機のマイコンをリセットして、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。

修理を依頼される前に、下記の手順でマイコンをリセットしてみてください。

電源を入れた状態で本体の[TUNING MODE]ボタンを押したまま、[⏻ON/STANDBY]ボタンを押す

電源

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。

音声

音声が出力されない / 小さい

- 接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。(→ p. 12, 13)
- 接続した機器の入力端子 / 出力端子に間違いがないか確認してください。
- 入力が正しく選択できているか確認してください。

ノイズが聴こえる

- コード留めを使ってオーディオ用ピンコード、電源コード、スピーカーコードなどを束ねると音質が劣化するおそれがあります。コードを束ねないようにしてください。
- オーディオコードが雑音を拾っている可能性があります。コードの位置を変えてみてください。

リモコン

リモコン操作ができない

- 電池の極性を間違えて挿入していないか確認してください。(→ p. 7)
- 新しい電池を入れてください。種類が異なる電池、新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。(→ p. 7)
- リモコンと本機が離れ過ぎていないこと、リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がないことを確認してください。(→ p. 7)
- 本体の受光部に直射日光やインバータータイプの蛍光灯の光が当たらないようにしてください。必要に応じて位置を変えてください。

NET/USB 機能

ネットワークサーバーが使用できない

- 「NET」表示が点滅している場合、本機がホームネットワークに正しく接続できていません。
- ネットワークサーバーが起動しているか確認してください。
- ネットワークサーバーがホームネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- ネットワークサーバーが正しく設定されているか確認してください。
- ルータの LAN 側ポートと本機が正しく接続されているか確認してください。
- 本機の「Network Setup」で正しい IP アドレスが割り当てられているか確認してください。(→ p. 33)

ネットワークサーバーで音楽ファイルを再生しているときに音が途切れる

- ネットワークサーバーが動作に必要な条件を満たしているか確認してください。(→ p. 29、30)
- パソコンをネットワークサーバーにしている場合、サーバーソフトウェア(Windows Media Player 11 など)以外のアプリケーションソフトを終了させてみてください。
- パソコンで大きな容量のファイルをダウンロードしたりコピーしている場合は再生音が途切れる場合があります。

インターネットラジオが聴けない

- 特定のラジオ局だけが聴けない場合は、登録したURL が正しいか、またラジオ局から配信されているフォーマットが本機の対応しているものか確認してください。
- 「NET」表示が点滅している場合、本機がホームネットワークに正しく接続できていません。
- モデムとルータが正しく接続され、電源が入っているか確認してください。
- 他の機器からインターネットに接続できるか確認してください。できない場合、ネットワークに接続されているすべての機器の電源をオフにし、しばらくしてからオンにしてみてください。
- ルータの LAN 側ポートと本機が正しく接続されているか確認してください。
- 本機の「Network Setup」設定で正しい IP アドレスが割り当てられているか確認してください。（→ p. 33）
- ISP によってはプロキシサーバーを設定する必要があります。
- お使いの ISP がサポートしているルータやモデムを使用しているか確認してください。

インターネットブラウザで本機の情報を表示できない

- インターネットブラウザに本機の IP アドレスが正しく入力されているか確認してください。
- IP アドレスの割り当てに DHCP を使用している場合、本機の IP アドレスが変わっている可能性があります。
- 本機とパソコンの両方が正しくネットワークに接続されているか確認してください。

AirPlay 再生中に音が出ない

- AirPlay アイコンをクリックして iTunes または iPad/iPhone/iPod touch の接続を一旦解除し、再度接続して再生してみてください。（→ p. 21）
- 本機の電源をスタンバイにし、再度電源をオンにしてみてください。
- 本機のマイコンをリセットしてみてください。（→ p. 39）
- iTunes または iPad/iPhone/iPod touch を再起動してみてください。

USB ストレージが表示されない

- USB メモリーや USB ケーブルが本機の USB 端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。
- USB ストレージをいったん本機から外し、再度接続してみてください。
- 本機の USB 端子から電源供給を受けるタイプのハードディスクの動作は保証できません。
- セキュリティ機能付きの USB メモリーの動作は保証できません。

その他

待機時消費電力について

- 次の場合は、待機時消費電力が最大 23W になる場合があります。
  1. 「AirPlay」設定の「Wake Up On AirPlay」設定が On の時（→ p. 21）
  2. 「Network Setup」設定の「Network Control」設定が「Enable（有効）」の時（→ p. 34）

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約 5 秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CD レンタル料など）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

本機の電源コードをコンセントから抜くときは、本機の電源をオフにしてから抜いてください。

主な仕様

チューナー

■ FM

受信範囲	76.0MHz ～ 90.0MHz

■ AM

受信範囲	522kHz ～ 1629kHz
プリセットチャンネル数	40

総合

電源・電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	26W
待機時消費電力	0.1W
最大外形寸法	435（幅）×101.5（高さ）×301.5（奥行）mm
質量	5.8kg

■ 音声出力

デジタル出力	ABS/EBU：1、OPTICAL：1、COAXIAL：1
アナログ出力	L/R

その他

イーサネット	1
USB	1（前面）
RI	2

※ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常があるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ **お名前**
- ▶ **お電話番号**
- ▶ **ご住所**
- ▶ **製品名** T-4070
- ▶ **できるだけ詳しい故障状況**

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。

修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 　　年　　月　　日

ご購入店名： ____________________

Tel. 　　Tel.　　(　　)

メモ：